



〈研究〉ドメニコ・マンゾニノ”Quaderno doppio”

平井, 泰太郎

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 30(4):613-632

(Issue Date)

1921-04

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053305>



ドメニコ・マンベロ "Quaderno doppio"

神戸高等商業學校講師

商學士 平井泰太郎

一

ルーカス・パチオリが其著「ズムマ」ノ内ニ收メタル「計算及記録要論」ノ一篇ガ近世簿記法ノ創始ヲナスモノデアルコトハ既ニ知ラレタル所デアル(註一)。此書ハ實ニ現代ニ及ブ迄ノ複式簿記ノ當初ノ基準デアツタ事ハ疑ヒモナイ事實デハアルガ、同時ニ簿記法ヲシテ科學的研究ノ對象トナリ得ルガ如ク組織立タシメタコトハ、一般ノ人士ニ常識的ニ普及セシメ其利用ニ叶ハシムルガ爲トニ就テハパチオリニ續ク多クノ著者ハ少カラザル研究ト工夫ト努力トヲ加ヘタコトニ就テモコレヲ看過スルコトハデキナイ。

先ヅ學校ノ課程ノ題目トシテ組立テラレネバナラナカツタ。生徒ニ教授スルガ爲メニ適當ナル教科書モ生レテ來ナケレバナラナカツタ。必要ハ發明ヲ生ミ、發明ハ必要ヲ促ス。漸クニシテ發達シタル十六世紀ノ經濟ハ、一度組成編述セラレタル簿記法ヲ、實用ノ名ニ於テ普及ト紹介トヲ先ヅ要求シタルコトハ、尙且現今ノ會計學ノソレニ於ケルガ如キ有様ガ傳ヘラレル。

ブラウンノ『學史』ニ聽ケバ(註二)、如此、近世商業發達ノ初期ニ於テ、「商業學校」("Commercial Academies")ト呼ブベキ學校ガ既ニ設立セラレテキタコトハ、興味ノアル事實デアル。當時迄ノ學校ハ

其數モ少ナカツタノデハアルガ、其目的ハ智識的職業ノ爲メデアツテ、教フル所ハ文藝復興ニ依リテ再興シタル古典文學ノ研究ニ力ヲ致スモノデアルカラ、商人タラントスル者ノ爲メニ適切ナル教育ニハ私設機關ノ必要ガアツタ。此故ニ、商人ノ私設學校ハ全ク新タナル企劃ニ依テ行ハレ、算術ノ一新學科トシテ起リタル簿記法ハ、其規則書ニ離ルベカラザル主要學科目ヲ成スニ至ツタノデアアル(註三)。教科書トシテノ簿記書ハ先ヅ以テ其必要ヲ生ジタコトハ想像ニ難クナイ。

パチオリノ簿記篇ハ初學者ノ爲メニ書カレタルモノデハナカツタ。『ズムマ』ノ算術及幾何ノ部門ニハ多クノ圖解ガアルニモ拘ハラズ、計算及記錄ノ篇ニハソレガナイ。**ガイスビーク**氏ヲシテ「汝斯クスベシト云ハンバカリノ説明」ト稱ヘシメシ(註四)、懇切ナル注意深キ指示ヲナシテハ居ルガ、記帳ノ方法雛形ニ就テハ筆ヲ及ボシテ居ナイ。蓋シ、**パチオリ**ノ目的ハ、當時**ヴェニス**ニ行ハレシ方法ノ純ナルモノヲ綜合編述シテ、我流ノ商人ニ正式ナル方法ヲ傳ヘ、其實用ニ供セシメントスルニアツタカラデアアル。只實習ニヨリテノミコレヲ學ビ「勤勉ト神ノ與ヘタル智慧ト學ビタルモノ、助ケトニヨリテノミ」自得スベキヲ彼ハ説クノデアアル。此ヲ以テ、彼ノ簿記書ハ、數度ノ上梓ヲ重ネ、(註五)彼自身ノ自稱スル如ク「拔群ナル」ニモ拘ハラズ、此書ヲ模倣シテ、更ニ圖示ヲ加ヘ、初學者教示ノ教科書トシテ書カレタル後ノ著者程ニハ、世上ニ流布ハシナカツタ。普及ト紹介トノ工夫ニ就テハ後ノ著者ノ數々ノ功ヲ頌スル理由デアアル。

パチオリニ續ク**ヴェニス**ニ於ケル第二ノ著者トシテ傳ヘラル、者ハ、**チラヴァニ・アントニオ**。

タイエンテ (Giovanni Antonio Tagliente) デアル。然シ乍ラ、此著者ニ就テハ史學者ハ餘リニ多クヲ語ラナイ。單ニ不完全不満足ナル冊子ノ出版(註六)トノ記錄ヲ止ムルニ過ギナイ。ガ、**パチオリノ** “De Computis” ニ比シテ教室用トシテノミハ多少ノ改良ヲ加ヘ例題ヲ挿入レテ適當ノモノトナツテ居タラシイ。冊子モ、實ニ片々タル二十四頁ノ無貢ノモノデアル。其上様ハ**パチオリ**ノ後二十一年、即チ一五二五年デアツテ、其標題ハ “a li nostri magnifici gentilhomani & adaltri mercatanti” ト云フ。大小ノ商人ヲ對照トシテ複式簿記ノ説明ヲ目的トシテ居ツタ。借方貸方ノ實例ヲ加ヘ、仕譯帳ヘノ移記ノ方法ヲ説明シテ居ルガ、元帳ハ取扱ツテ居ナイ。Kheilニ依レバ、**タイエンテ**ハ**パチオリ**ノ書ヲ模倣シテハ居ナイガ、讀ンデハ居タト考ヘラル、ヤウデアル(註七)。「略史」ノ著者、Woolfハ此著者ニ就テ多少ノ叙述ヲ試ミテ居ルノデアルガ、Brown 及 Kheilノ兩者ニハ記述サレテ居ナイケレドモ、**タイエンテ**ハ同ジ年ニハ更ニ一書ヲ上梓シテ居タト傳フル(註八)。此書ハ極メテ稀ニノミ見出サル、ノデ第一ノ書ノ如クニモ知ラレテ居ナイ。倫敦ノ會計士協會ノ文庫ニハ秘藏セラレテアルヤウデアル。標題ハ “a diversi Mercatanti, e a molti Artesani li quali fanno le sue mercantie ne le loro boteghe” ト云フ。前者トハ異ツテ、小ナル小賣商人ヲ對照トシタ。前者ヨリモ簡單ナル冊子デハアルガ、頁毎ニ、其上部ニ法則ヲ記シ、脚部ニ例題ヲ備ヘタ。其方式ハ**パチオリ**ヨリモ簡單デアツテ、圖式ノ使用ノ爲モアツテ簿記法ノ普及ニハ都合ガヨカッタ。實ニ、**タイエンテ**ノ二冊子ハ、片々不完備デハアルガ、此新學科ヲ教示スル必要ニ迫ラレタル新タナル商業學校ノ教授達ノ歡迎ヲ得タコトハ視ハレル。此種ノ改良ハ、直ニ、他ノ著者ノ模倣採用スル所トナツタノハ無理カラヌ

コトデアル。カクテ、パチオリヲ祖述スル多クノ良書ノ生レデタ事ハ祝福セラレタルコトデアツタ。余ガ茲ニ研究セントスルドメニコ・マンゼニノ“Quaderno doppio”ハ此ニ生レ來ツタルモノデアル。

(註一) パチオリノ書ノ出版ハ一四九四年デアツテ、“Summa de Arithmetica, Geometria, Proportioni et Proportionalitia”ト稱シ、其第一部第九篇ガ“Particularis Computis et Scripturis”ト稱フル簿記篇デアル。

神戶會計學官編纂 會計學論叢第四果 拙稿「ばちおり簿記書」研究參照。

パチオリノ稱呼ニ就テハ一定スル所ナク、余モ亦疑義ヲ抱クノデ、本誌第二十八卷第六號、七八頁以下ニ考證ヲ試ミタノデアツタガ、其後、長崎高商教授武藤長藏氏、商學士飯島幡司氏、同大野辰見氏、岡田誠一氏其他ノ諸氏ヨリ私信或ハ誌上ヲ以テ注言ト疑義トヲ提供セラレタルコトハ余ノ感謝ニ堪ヘナイ所デアル。余ノ言ヒ足リナカツタ説明モアル様デアルシ、武藤教授、岡田氏ノ如キハ他ノ稱呼ヲ正シトセラルハラシイガ今ハ、此儘ニシテ置イテ此上トモ教示ヲ御願シタイト思フ。只場所柄如何カと思ハル、ガ、好イ機會デアルカラ私信ヲ以テ御答ヘシタ誤植及注記ヲ茲ニ訂正増補シテ置キタイ。本誌同號參照。

(八〇頁一一行一僧侶ハ修者ノ方宜シキトノ事。八七頁一行 Richard ハ Richard. 九行市村ハ市河。八八頁一三行。ウルフ氏ノ説明ハ本文ニ就テ云ツタノデアル。卷末附録ニハ Lucas Pacioli ナ用フル矛盾ガアル。九〇頁一行、弗克耳ハブルゴ(Burgo)デアロウトモ思フガ、年代ガ出鱈目デアルカラカク記シタノデアル。九二頁三行。誤植ハ誤讀)

(註一) Brown, R., History of Accounting and Accountants, P. 120

(註三) “Commercial Academies”ニ就テハ Ziegler, Die Kaufmännischen Bildungstätten, etc., vom Ausgange des Mittelalters bis ins 18te Jahrhundert 及 Sievking, Aus venetianischen Handelsbüchern (Schmoller's Jahrbuch für Gesetzgebung, etc. (75th year, 4th Issue)) 參照。

(註四) Geijsbeek, J. B., Ancient Double Entry Book-keeping P. 9

(註五) 會計學論叢第四集七九頁註四及引用句ニ就テハ一七七頁參照。

(註六) Geijsbeek, P. 9

(註七) Woolf, A. H.; A Short History of Accountants and Accountancy, P. 120.

(註八) Woolf, Ibid, P. 120

二

ドメニコ・マンゾニ (Domenico Manzoni) が其簿記書ヲ**ヴェニス**ニ著ハシタノハ一五三四年デアツテ、**パチオリ**ノ “De Computis” ノ後四十年デアル。彼ハ、算術及簿記ノ教師デアル。其書名ヲ “Quaderno doppio col suo giornale secondo il costume di Venetia” ト云フ。**ヴェニス**式複式元帳及仕譯帳』ト譯出スル。此書ハ圖解ヲナシタル通俗的ノモノデアツテ、至極人氣ニ投ジタラシク、四十年ノ間ニ七版ヲ重ネタ。當時ノ事情カラ考ヘルト非常ナ成功ダト云ハル。其再版ハ一五五四年(即チ初版後二〇年)同ジ様ナ標題デ出タ。内容ハ同ジモノデアアルガ、其他ノ版ハ微カ標題ヲ異ニシテ “Libro mercantile ordinato col suo giornale el Alfabeto per tener conti doppi al modo di Venetia” トナツテ居ル。(註九)

マンゾニハ此書ヲ友人 Petrus ノ兄タル Aloisius Vallaresus ト云フ富者ニ捧ゲテ居ル。其序言ノ告グル所ニ依レバ、此書ハ、其出版ノ數年前未ダ三人ガ共ニ**ヴェニス**ノ學校ニ通ツテ居ル頃ニ著手セラレテキタコトガ明カニ知ラレル。著者ハ、其標題ニ『**ヴェニス**式』ノ名ヲ冠シテハ居ルガ、如何ナル徑路ニヨリ其智識ヲ得タカニ就テハ何等モ誌サナイ。又、**ルーカス・パチオリ**ノ名ヲスラ引用書トシテ、又ハ先學トシテモ記サナイ。**マンゾニ**ノ書キ振リハ、方言ノマ、ノ話風デアル。彼ハ豫メ其序言ノ中ニ、彼ガ學者デハナイコト、從テ華麗ナル文章ヲ持テ綴ルコトハ出來ナイガ只口カ

ラ口へ學ビ傳ヘラレタ口語ニヨルコトヲ記シテ居ル。彼ハ、又自分ガ貧シキ者デアルコトヲモ記シテアル。當時ハ、富者ト僧侶トノミガ十分ニ學校ニ通フコトヲ得タノミデアツテ、貧者ハ通常職人トシテ、其兩親カラ仕事ヲ學ブニ過ギナイ狀態ニアツタノデアル(註一〇)

學者ハマンザニノ書ヲ目シテ、**パチオリ**ノ“De Computis”ヲ忠實ニ追ウテ綴ツタモノトナシ、**タイエン**テノ工夫モ亦預ツテ力ガアツタモノトナシテキル。尤モ、時トシテハ**パチオリ**ノ訂正再版ヲ以テ目シ得ルトサヘ云フ時モアル(註一二)章節ノ轉換、多少ノ削減ヲ除イテハ、頁ヨリ頁ヲ追ヒ、語ヨリ語ヲ追ヒ類似シテ居ルカラデアル。然シ乍ラ、彼ノ書ハ未ダ嘗テ**パチオリ**ニ見ルコトヲ得ザリシ、三百頁ニ及ブ仕譯帳ト元帳トノ圖示ヲ加ヘタ點ニ於テ先驅者ノ榮譽ヲ有シテ居ル。**パチオリ**ノ書ニ見ル如キ(註一二)宗教的ノ語調ヤ、格言ヤ、奇警ヤハ割愛セラレテキルシ、多クノ價值アル論證ヤ詳細ナル説示ハ削減セラレテキルノデ、How?トWhy?トハ“De Computis”ノ其ノ如クニハ求メテ得ベクモナイガ、實際ヨク纏マツタ點ニ於テ、或ハ技術的例示ノ點ニ於テ、依然トシテ彼ノ組成ト普及トノ功績ハ認メラルベク、**パチオリ**ノ理解ノ爲ニモ、原始伊太利簿記ノ研究ノ爲ニモ脱セシメ得ヌ地位ヲ持ツ所以デアル。

(註九) Khell, Bearbeitungen von Luca Pacioli, S. 3a 再版ノ標題“Quaderno doppio col suo giornale, nuovamente composto, et diligentissimamente ordinato, secondo il costume di Venetia”トナンテキル。他ノ版ハ、一五四〇年、一五六四年、

一五六五年、一五七三年、一五七四年ニ各**ウエニス**ニ出版セラレタ(Brown's P. 344.)

(註一〇) Geijsbeek, Ancient Double Entry Book-keeping, P. 9-10

(註一一) Geijsbeek, Ibid. P. 10. Brown, History of Accounting and Accountants, P. 120.

Kheil, Über einige ältere Bearbeitungen des Buchhaltungs-tractates von Luca Pacioli. P. 3.

(註一二) 會計學論叢第四集拙稿參照。

三

“Quaderno doppio”ハ二部ニ分レテ居ル。一部ハ、説明デアツテ、他ハ仕譯帳及元帳ノ例示デア
ル。前者ハ簿記ノ理論的論述デアルガ、大體ニ於テ“De Computis”ノ剽竊ダトセラレル。章ヲ追
ウテ比較シテ見ルト説明ノ部分ニ於テ、パチオリ三十六章中ノ十二章ノ内包ヲ移シテ居ル。二部ヲ
合セテ十八章ガ移サレテ居ル。後者ハ、彼ノ尊敬セラルベキ創意デアル。仕譯帳ハ二十頁、元帳ハ
四十六頁ニ及ンデキル。

今此ニ**ガイスビー**ク氏ニ從ヒテ、註一三其書ノ内包ノ組立ヲ展開スル爲メニ其章節ノ目次ヲ譯出ス
ル。尙且、如何ナル範圍ニ於テ**パチオリ**ノ書ニ倚寄シ、削除セルカヲ對照ヲ試ムル。(下ヲ括弧内ニ掲グ
ルハ會計學論叢第四集參照) 註一四

(マンゾニ)

(パチオリ)

第一部 仕 譯 帳

第一章 商人ニ必要ナル事項ト元帳及仕譯帳ノ記帳方法。

[Ch. 1]

第二章 棚卸、其意義及商人ノコレヲナス方法。

[Ch. 2]

第三章 棚卸ノ形式及例解。

[Ch. 3]

第四章 棚卸ニ關シ商人ニ對スル最後ノ勸告及注意

第五章 多クノ人々ノ用フル日記帳 (Memorial) 附込帳 (Strazze) 又ハ控帳 (Vachetta) ト稱スル特定ノ帳簿。

其說明、及其記帳法及何人ノ爲ニスルカ。

第六章 通常用フル數種ノ特殊小帳簿、其説明及記帳法。

(註) 雜費、家事費、給料、修繕費、使用料 (rents) 特殊商品ニ對スル特別ナル日記帳

第七章 或地方ニ於テ帳簿ガ法律ニ依リ認證セラル、方法。

第八章 仕譯帳ト呼ブ第一帳簿、其説明及開始並ビニ記帳法

(註) 通常設ケラル、仕譯帳ノ五欄ヲ説明ス(後述)

第九章 仕譯帳及元帳ニ用ヒラル、二ツノ用語。一ツチ「金錢」ト呼ビ、他チ「資本」ト呼ブ。其意義。

第一〇章 仕譯帳ニ用ヒラル、他ノ二用語。混同セラル、コト多シ。其意義。

(註)「借」(“Per”)及「貸」(“A”) (後述)「借方ト貸方トナニテ分ツコト。

第一章 元帳ノ使用及設定ノ理論

(註) 著者ハ此點ヲ難解ノ個所トスル。"Per" 及 "A" ハ借方ト貸方トヲ分ツニ用フル。併シ、賣買ニ關スル諸種ノ方法

ニ關聯シテ仕譯帳記入ノ八法則ヲ記載スル以外ニハ借方及貸方仕譯ノ方法ヲ記述シテ居デイ。

第二章 仕譯帳ノ各項ノ適當ナル記入ヲナス方法。

(註) 前章所載ノ法則ヲ用ヒテ、仕譯帳記入ノ例示。

第三章 仕譯帳及元帳ノ略則。各記入ノ必ズ有スベキ六事項。

第一四章 在來ノ略字ノ説明。及“*Lire di grossi*”ノ意味。記帳ノ爲ニ商人ノ用フル諸種ノ貨幣、及實際上存

在セザル貨幣。

(註) 普通用フルモノハ Lire=20 soldi; 1 soldi=12 piccioli.

(In Ducats) 1 ducat=24 grossi; 1 grosso=32 Piccoli in gold; 1 Piccolo in gold=1-15/16 Piccoli in money

by common people.

(In Lire di grossi) 1 lira=10 ducats; soldo=12 grossi; 1 lira=20 soldi; 1 grosso=3; Piccioli;

1 grosso in gold = 5 grossi common money.

バチオリノ貨幣ノ説明ハ論叢第四集一一四頁ノ如ク、1 gold ducats = 24 grossi; 1 grosso = 32 piccoli.

第五章 仕譯帳及元帳ノ例示ノ諒解ニ必要ナル説明。

第二部 元帳

第一章 第二ニシテ最終ナル、元帳ト呼ブ商業帳簿。其説明。其開始及記帳。

第二章 此帳簿ハ古キ年號ヲ記載スル方法。轉記ニ用フル貨幣ノ種類。

(註) 年號及、通常ハ貨幣モ、羅馬數字ヲ書ク、○ヨリ9ニ至ルアラビヤ數字ハ變造シ易シ。日附ハ重記セズニ線ヲ用フ。餘白ヲ存セヌコト。他ノ者ノ補入スルコトアレバナリ。

第三章 仕譯帳ノ各一個ノ記入ニ對シ、元帳ニ二ツノ記入ヲナス理由。

第四章 元帳ノ各記入ニ對シ兩用語ヲ用フルコト。

(註) 元帳借方ニ“Ad”ヲ用ヒ、貸方ニ“Per”ヲ用フ。仕譯帳ニ於テハ“Ad”ハ貸方ヲ現ハシ“Per”ハ借方ヲ現ハス。

第五章 各記入ヲ仕譯帳ヨリ元帳ヘ轉記スルニ用フル手段及方法。

(註) 元帳頁數ヲ記入スル時ニ於テ仕譯帳記入ヲ斜線ニテ消却スルコト。

第六章 元帳ヘ轉記濟トナリタル仕譯帳記入ニ印ヲ附スルコト。

第七章 各記入ヲ仕譯帳ヨリ元帳ヘ轉記シタル際ニ仕譯帳ノ欄外ヘ線ヲ區切り、二ツ重ネテ元帳ノ頁數ヲ書クコト。

(註) 各仕譯帳記入順次ニ附スル數字。

第九章 頁ニ滿チタル時ニ於テ各記入ヲ元帳ノ他ノ個所ヘ移記スルコト。

(註) 記入ノ最下部ニ於テ兩側ノ餘白ヲ消シ、仕譯帳ニ記入ヲナサズシテ、差額ノミヲ移記ス。但シ“Carried forward” (繰越)

ノ意味ヲ有スル略字ヲ附スルコト。

第一〇章 誤謬探索ノ爲メ帳簿ノ突合セチナス爲ノ手段及方法。

(註) 助手ニ元帳ヲ渡シ、自分ハ仕譯帳ヲ止メ置き、斯クテバチオリノ方法ヲ繰リ返ヘス。マンゾニハ點ヲ用ヒズ但シ最初用ヒザリシ印ヲ用フルコト。(第六章及後述仕譯帳參照)

[]

[Ch. 13]

[]

[]

[Ch. 15]

[Ch. 14]

[Ch. 14]

[Ch. 14]

[]

[Ch. 28, 36]

[Ch. 32]

第二章 元帳ノ誤レル頁ヘ轉記ヲナシタル場合ニ於テ元帳訂正ノ方法。

[Ch. 31]

(註) 決シテ誤記ヲ線ニテ抹消シ又ハ削除セザルコト。後ニテ何ガ誤記ナリシカチ不明瞭ナラシムルガ故ニ、變造ト誤認スベキヲ以テナリ。若シ、貸方ニナスベキ記入ヲ借方ニナシタリトスレバ、相殺ノ爲メニ同ジ金額丈ナ貸方ニ記入スルコト。然ル後ニ、誤レル記入ヲ印シ、訂正セル記入ヲX又ハH (Havere 即チ貸方) ニテ印ス。或者ハ、訂正ノ記入ヲナス爲ニ二倍ノ金額ヲ用イテスルコトアリ。

第二章 勘定書ヲ求メラントル場合ニ如何ニシテ借主又ハ貸主ノ計算ヲ作ルカ。

[Ch. 30]

由是觀之、マンゾニハパチオリニ倣ヒ、十分ノ注意ト周密サトヲ以テ各詳細ニ至ル迄丹念ニ叙述セルマトラ知り得ルノデアル。

(註三) Geijsbeek, Ibid. P. 30-31, & P. 85-86.

(註四) パチオリノ書ノ中ノ Ch. 5, 6, 8, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29, 32, 33, 34, 35. ノ大部ガ省略セレテアル理デアル。

四

マンゾニノ書ノ内包ハ凡ソ以上ノ如クデアル。パチオリニ倣ヒ、タイエンテノ技巧ヲ取り入レテ巧ミニ排列シタルコトハ既ニ知ル如クデアル。斯クテ、簿記法ノ體形ニ秩序ト例示トヲ與ヘテ、或部分ニ就テハ更ニ明瞭ナル觀念ヲ齎シタコトヲ認メ得ル。

彼ノ技巧ニシテ、パチオリニ未ダ見出シ難カツタモノハ何デアツタカ。コレヲ理論ノ説示ニ就テ見レバ、仕譯ノ法則ニ適確ナル略規ヲ與ヘタコトデアル。

其第十一章ニハ仕譯ノ八規則ヲ記シ、且、購賣、販賣、受入、支拂、交換、借入及賒與ノ總テニ

關シテ常ニ四個ノ要素ヲ掲ゲテ居ル。即チ

一 與フル者

二 受クル者

三 與ヘラル、モノ

四 受ケラル、モノ

ガコレデアル。換言セバ、現今或派ノ人々ノ説ク如キ若干要素ヲ用フル説示法ハ此ニ其發芽ヲ見得ルノデアツテ、取引ニ四個ノ要件ヲ注意シタノデアル。此要件ニ對スル説明ニ就テハ彼ハ十分ナル利用法ヲ示シハシナイガ、後年(註一五)シモン・ステヴィン(Simon Stevin)ニ依テ、説カレタル所ヲ引用シテ見レバ、彼ノ著想ノ凡ナラザル所以ガ觀ハレル。

總テノ取引ハ必ズ複式ノ記入ヲ要スルノデアルガ、譬ヘバ、「Peterガ余ニ百磅ヲ支拂ツタ」場合ニハ四要素ハカク考察セラレル。

一、與フル者——即チ Peter

二、受クル者——即チ營業主

三、與ヘラル、モノ——即チ Peterニ依ル現金

四、受ケラル、モノ——即チ營業主ヨリスル現金

故ニ營業主ハ Peterニ借、現金ハ營業主ニ借トナル。併シテ、コレヲ聯鎖シ代數的ニ消去スレバ、 $(a=b, b=c)$ ナル時ハ $a=c$ ナルガ故ニ(現金ハ Peterニ借トナル。ト考察スルノデアル。附言スルガパチオリ以來ノ原始著者ハ大體ニ於テ擬人法ヲ用ヒテ居ルコトハパチオリ簿記書ヲ讀ム者ノ知ル所デアル。ステヴィンノ説明ヲ借ルコトハ此際ハ多クヲ避ケテ他日若シ機會モアラバ其時ニ譲リタイガ、只、此四要素ノ利用ニ附イテ、先ヅ起ルベキ疑問——即チ何ガ故ニ此際、如上ノ「營業主ハ Peter

ニ借「現金ハ營業主ニ借ノミヲ捕ヘタカ？」ニ就テハ、彼ハ斯ク答フル。

ステヴィンノ書ハ**オレンヂ**侯(Peince of Orange)トノ問答デアルガ、侯問ウテ曰フ「Peterガ余ニ百弗ヲ支拂フトスレバ、二ツノ借主ト二ツノ貸主トヲ生ズル。余ハ彼ノ借主ニテ、余ノ現金ハ、又借主ナリ。彼ハ余ノ貸主ニテ彼ノ現金ハ。又貸主ナリ。此四者ノ内余ノ帳簿ニハ孰レノ二著ヲ選ブベキカ？」ト。祝福セラレタル者ヨ！彼ノ答ハ曰ク「常ニ余ノ貸主ヲ取ルベシ。余ノ借主ヲ取ルベシ。」

Peterノ帳簿ハ彼ノ貸主ヲ探ルベク彼ノ借主ヲ探ルベケレバ」ト。(註一六)神ノ物ハ神ニ、カイゼルノ物ハカイゼルニ返ヘシタル明快ナル答解ハ、**ステヴィン**ニ賞嘆セラルベキデアロウガ、實ニ**マンゾ**ニニ依テ此鍵ノ記述セラレタノハ多トスベキデアラウ。下野教授ノ所謂、主觀的記錄ト客觀的記錄トノ理論モ、(註一七)近代四記式論者ノ理論モ舉ツテ彼等ニ發芽ヲ見出シ得ルノデハナカロウカ。只、何ガ故ニ、等シク彼ノ物ヲ取り、余ノ物ヲ取ルニ拘ハラズ、東洋簿記ト西洋簿記トノ差異ヲ見出し得ルカハ、更ニ精思ニ殘サレタル根本問題デアル。

マンゾニノ仕譯ハ、規則トハ何デアツタカ。曰ク、

一、購買ニ就テハ商品借

二、販賣ニ就テハ商品貸

三、現金賣ニ就テハ現金借

四、現金買ニ就テハ現金貸

五、掛賣ニ就テハ買主借

六、掛買ニ就テハ賣主貸

七、支拂ヲ余ニ約シタル者ハ借

八、余ガ支拂ヲ約シタル者ハ貸

余ハ、徒ラニ説示ガ、著者自身ノ如ク冗漫トナルヲ恐ル、。然シ乍ラ、此規則ノ眞ヲ握リタキガ爲ニ、此ニ其詩句體ニ書カレタル第十三章ヲ譯出スルヲ許セ(註一八)。

第十三章 仕譯帳及元帳ノ略則(CAP. XIII. Regole breuissime del giornale & quaderno)

諸子注意セヨ。仕譯帳及元帳ノ規則ニ六ツノ内包アルヲ、數フレバ、與フ、持ツ、品質、數量、時、及順序。

與フ(借)ハ、「與フベシ」ノ意ニ同シ、借主ハ其一又ハ多數。

持ツ(貸)ハ、「持ツベシ」ノ意ニ同シ、貸主ハ其一又ハ多數。

品質ハ、コレニ依リテ諸子ノ扱フモノノ如何ナル性質ナルカチ知ル、

數量ハ、コレニ依リテ數ト、重サカ尺度カト、モノノ大小ト、チ知ル

時トハ、取引ノ行ハレタル日ト月ト年トノ意ナリ。

順序トハ、余等ガ此書ニ依リテ容易ニ學ビ得ベキモノノ意ナリ。

最初ノ二ツハ最モ肝要ニテ、特ニ總テノモノニ關聯ス。

借主トセラレシモノハ貸主ノ前ニ置カル。

借主トセラレシモノノ前ニハ「Per」ガ置カル。「D」ノ印ニテ。

貸主ノ前ニハ「A」ヲ置ク。「A」ノ印ニテ。

「P」ハ此場所ニテモ、ノガ借主トセラレシヲ示ス。

併シテ「A」ハ此場所ニテモ、ノガ貸主トセラレシヲ示ス。

仕譯帳ニテハ、二ツノ小ナル線ニテノ如ク、借主ト貸主トチ分ツベシ。コレニテ、仕譯帳ノ一ツノ記入ヨリ、元帳ハ二ツノ記入

ヲナスベキヲ示ス。

仕譯帳ニテハ、日附ハ記入ノ上ニ置カルベシ。

元帳ニテハ、同ジモノガ記入ノ本文ニ運ビ入レラル。

仕譯帳ニテハ、元帳頁數ハ記入ノ前ニ置カル。

併シテ元帳ニテハ、同ジモノヲ記入ノ後ニ置ク。

活ケル勘定ノ科目ハ索引ヘ右ニ記サル。

死セルモノソレハ左ニ記サル。

「活ケルモノ」ト云ヒテ、魂ヲ持テル總テノモノノ意ヲ現ハス。

併シテ「死セルモノ」ト云ヒテハ、商品及其他ノ總テノ意ヲ現ハス。

斯クテ余ハ、マンゾニノ各記入ニ六事項ヲ説キタルコトノ意味ヲ察シ得タ。

最後ニ彼ノ理論ニ於テ「A」及「Per」ノ二ツノ用語ガ如何ニ解セラル、カラ研究シヤウ。此點ハ實

ニ又、彼ノ元帳ニ於ケル一ノ明白ナル解釋トセラルベキモノデアルカラデアル。

ガイスビーク氏ニ依レバ「Per」ハ by ノ意デアツテ「A」ハ io ト譯出スルコトハパチオリニ同

ジデアル。余ハ前者ヲ「借」ト意譯シ、後者ヲ「貸」ト現ハシタ。蓋シ、明治初期ノ簿記書ノ多クニ見

ラル、仕譯、例之。

金銀ハ。

五、〇〇〇

福德屋ニ

五、〇〇〇

ニ於ケル「ハ」及「ニ」ニ相當スルモノデアル。マンゾニハ、パチオリニ倣ツテ、仕譯帳ニ於テハ「Per」ハ借主ヲ現ハシ、常ニコレニ先ツ。併シテ「A」ハ貸主ヲ現スヲ説イテキル。

マンゾニハ次ニ當時ノ制度(即チ**パチオリ**ノ書)ニテハ、元帳ニ於テハ單ニ“Per”ヲ用イテ“A”ヲ用ヒナイコトヲ指摘シ、赦スベカラザル誤謬ダト呼ンデキル。彼ノ元帳ノ例示ニ於テハ、借主勘定ノ借方ニ“De”ヲ用ヒ、其理由トシテハ、其後ニ來ル科目ハ、元帳ノ借方ニ書カレハスルケレモ、必ズ貸主ノ科目デナケレバナラヌカラ、仕譯帳ニ於ケルト同様ニ、貸主ヲ現ハス“A”ヲ貸主ノ科目ノ前ニ先ダタセルノダトナシテキル。同様ノ理由ニ依テ、貸方ニ於テハ、借主ノ科目ノ前ニ“Per”ヲ置イテアル。**ステヴィン**ハ**パチオリ**ニ倣ツテキル。**マンゾニ**ノ此主張ハ誤リデアルカ。

此事ヲ吟味スルノデアルガ、コレニハ果シテ、“Per”ヲ“By”ト譯シ“A”ヲ“to”ト譯シ、從ツテハ“借”貸ヲ意味セシムルコトノ當否スラ問題トナリ得ルデアロウ。何分此二ツノ辭句ハ、コレニ續ク動詞ニ依リ、名詞ニ依リ、乃至ハ“時”ト“格”トニ依テモ種々ニ譯シ得ルカラデアル。余ガ**パチオリ**翻譯ノ際ニモ、此文字ガ問題トナリ得ル個所モ、邦語ニスルガ爲メニ“ニヤ”ハハ現ハレズニ濟マサナゲレバナラナカツタシ、然モソレガ却ツテ邦語トシテハ正シイノデアルカラ問題ハ甚ダ吟味ニ都合ガ惡イ。然シ、前述ノ如ク明治初期ノ書ニハコレガ譯サレテキルシ、歐米ノ書デモ極最近迄、元帳ニ、借方欄ノ貸主ノ名ノ前ニ“to”ヲ附シ、貸方欄ノ借主ノ名ノ前ニ“By”ヲ附シテキタノデアルカラ當時ノ此主張モ、一顧ハ向ケタ方ガヨカラウ。

元帳ノ科目ノ借方ノ標題ニ用ヒラル、“de dare”ヲ文字通リニ譯スト與フベシ(shall give)トナル。コレヲ元帳ノ文句ニ入レルト、例之“甲ハ乙ニ借”即チ“Ko debit to Otsu”トナル。伊太利古語デハ“Ko dee dare (shall give) A (to) Otsu”トナル。貸方ニ就テ云ク“乙ハ甲ニ貸”即チ“Otsu credit

by Ko”トナリ伊太利古語”ハ “Otsu dee have(re) shall have or receive) Per (by the hand of) Ko”トナル。故ニ、若シ、カク解シテ宜シクバ、現今ニ於テハ此點ニ關シテハ、**パチオリ及ステヴィン**ヨリモ**マンゾ**ニ倣ツテ居ルト云ツテモ好イヤウデアル。(註一九)

(註一五) Simon Stevinノ書ハ一六〇四年、**アムステルダム**ニ於テ蘭語テ現ハサレ、一六〇七年**ヘーグ**ニ於テ再版セラレ、一六〇五年又ハ一六〇八年、羅匈語テ再出版セラレ、一六五〇年其息 Hendrik ニ依テ再版セラレタ。他ニ一六〇二年ト日附チ入レタル佛語版モアルカノ如クデアル。注目スベキ祖述者デアル。

書名チ “*Illypmentata mathematica*”(mathematical traditions) ト云コ、其第二卷ニ於テ簿記ガ説カレナアル “*De Apologica Principum Ratocinio Italico*”(Account-Keeping for Princes after the Italian manner) ト云フ。

(註一六) Geijsbeek, Ibid. P. 83 & 114.

(註一七) 舊東京高等商業學校專攻部大正七年度講義。

(註一八) Geijsbeek, Ibid. P. 84—85

(註一九) Geijsbeek, Ibid. P. 14.

五

マンゾニノ簿記書ニ於テ、**パチオリ**以外特ニ注目スベキハ例示及雛形ヲ加ヘタコトデアルコトハ前述シタ。即チ、彼ノ形式ノ方面ニ於ケル創始トナスベキモノデアル。余等ハコレニ依テ、**パチオリ**ノ説示スル仕譯帳ハ果シテ如何ナル形式ヲ具ヘタカラ、始メテ了解スルコトヲ得ルノデアル。

今此ニ**ブラウン**氏ノ掲グル所ニ倣ヒ、(學史一二二頁) “*Quaderno doppio*” ノ仕譯帳最後ノ頁ヲ示スデアラウ。(次頁參照)(註二〇)

(註二〇) 次頁ニ掲グルハドミニカ・マンツィノ "Quaderno doppio" ニ掲グル仕譯帳例解ノ最後ノ頁デアル。本文中ニ説ク如ク、吾人ハコレニ依テパチオリニ依テ説カレ然モ未ダ例示ヲ與ヘラレザリシ原始伊太利式複式簿記ニ於ケル仕譯帳ノ雛形ヲ知り得ルノデアル。

頁ノ最初中央ニアルハ、日附デアル。横線ニ依テ各取引ノ仕譯ハ分割セラル、各項ノ最初ニアルハ勘定科目デアツテ、借方貸方ノ科目ハ平行斜線ニ依テ分タレ、金額欄ハ一欄デアル。記事ニ接シテ先ヅ欄外ニ記サレタル分數ノ如キ形ヲ有スル、二ツノ重ナレル數字ハ、元帳丁數デアル。上ノガ借方科目轉記ノ丁數ヲ示シ、下ノガ貸方科目丁數デアル。其左ニ存スル二ツノ小ナル線ハ、突合セノチエツク、マークデアル。ビエトラ(Bietra)ガ此ニ點(dot)ヲ用ヒ、パチオリ(Pacchi)ガ點・又ハ鉤印・其他ノ印ヲ用フルモノト同義デアル。著書ノ中ニ轉記終了後、仕譯帳記入ナ二ツノ斜線ニテ消去スベキヲ記シテアルガ(コレハパチオリモ同様デアル)其斜線デハナイ。其斜線ハ印刷ノ都合上當時ハ未ダ文字ノ上ヘ引クベキ術ガナカツタノデ。其兩端ノミガ、取引ヲ劃スル横線ノ左右ノ端ノ方ニ現ハレテキル。印刷ノ都合上省カレタト見ルベキ線ハ、此外ニモ、金額欄ヲ劃スル縦線デアル。コレハ例示ニハ現ハレテナイガ、本文ノ説明並ビニ後ノ著書ヨリシテ、實際ノ帳簿ニハ引カレテアツタロウトモ思ハレル。

欄外左端ニ見出サル、 $304-300$ ノ數字ハコレコン、マンツィノ獨創ニナル仕譯帳記入ノ順番號デアル。他ノ著者ノ記サザル所デアル。右端ノ金額欄ノ *L. S. D. P.* ハ各々 *Libre, soldi, denari, piccoli* ナ現ハス略字デアル。小横線ハ云フ迄モナク零ノ意デアル。金額ノ上ニ記サレタル二行ノ文字ハ、著者ガ讀者ニ與フル指示デアル。仕譯帳記入ノ一部デハナイ。字體ノ異ルノハ其爲デアル。パチオリノ説明ノ如ク、帳簿ニ用フル貨幣ト、各共地方デ用フル貨幣トガ種々アル理デアルガ、ソレハ、記事ノ中ニアルト否ト分ツモノデアル。記事ノ直ガ左ニアル *P.* ハ「借」ノ意デアツテ、平行斜線ノ後ノ *A.* ハ「貸」ノ意デアル。

- 294 $\frac{4}{30}$ P Pro & danno // A doni varij, per danno seguido, Di saldar la partida de li doni, ponet-
tratto in resto, per saldo di quello 9p 1 val L do il resto di quelli in pro & danno.
_____ s _____ 2 d _____ p _____
- 295 $\frac{4}{31}$ P Pro & danno // A Spese de uiver di casa, per piu Di saldar le spese di vestir in ditto pro
spese fatte, come in esse appar, per saldo di quelle 9p & danno.
154 d 20 p 14 _____ val L 15 s 9 d 8 p 14
- 296 $\frac{4}{32}$ P Fitti della possession da Moian // A Pro & danno Di saldar li fitti della profession, in pro
per fitto di quella per l'anno presente, finira de Ludo & danno.
1541 per saldo de quelli 9p 45 d _____ val L 4 s 10 d _____ p _____
- 297 $\frac{4}{33}$ P Pro & danno // A Spese diuerse per piu spese fatte Di saldar le spese diuerse, in ditto pro
l'anno presente, come in esse appar, per saldosu 9p & danno.
599 d 12 p _____ val L 33 s 19 d _____ p _____
- 298 $\frac{4}{34}$ P Pro & danno // A Spese de salaria ti in monte, per Di saldar le spese de salariadi in ditto
piu spese fatte l'anno presente, come in esse appar, pro & danno.
per saldo di quelle 9p 48 d 12 p _____ val L 4 s 17 d _____ p _____
- 299 $\frac{4}{35}$ P Pro de zeccha in monte // A Pro & danno, per uti Di saldar in prode zeccha, inlo ditto
lita seguida, come in quello appar, per saldo suo, 9p pro & danno.
150 d _____ p _____ val L 15 s _____ d _____ p _____
- 300 $\frac{4}{36}$ P Pro di danno // A Cavedal de mi A luise Vallarezzo, Di saldar poi il pro & danno nel tuo
per utilita seguida de l'anno 1540, tratto in resto, cavedal, per Vltima conclusione.
per saldo di quello, 9p 900 d 22 p 17 val L 90 s 1 d 10 p 17

Fine del presente Giornale, tenuto per mi A luise Va
larezzo, per conto d'ogni traffico, & negotio d me oc
corso, da di primo Marzo 1540, fin ati ul'imo Fe
bbraro del ditto millesimo, nelqual ordinatamente de
giorno in giorno, ho scritto di mia mano, ne
in esso piu intendo scriuere, per laser
quello concluso & saldato in
12 partite, lequal ho
reportate nel li-
bro nuno se
gnato
A

由是觀之、**パチオリ**ノ簿記書以後ニ**マンゾ**ニノ現ハレタルハ、此雛形一ツヲ以テシテ優ニ出現ノ意味ノアツタ事ハ視ハレル。工夫カラ云ツテ特ニ加ヘラレタルハ記入ヲ示ス順番號ノミデアルガ、五欄ノ明瞭ハ**パチオリ**ニ於テハ期シ得ベクモナカツタ所デアル。

尙、仕譯帳ノ利用ニ就テ最後ニ特筆セネバナラヌコトハ、移記ノ爲ニ仕譯帳ヲ用ヒテキルコトデアル。(註二)例之、『三月十五日ニ砂糖四三四封度ヲ買ヒ四月二日ニコレヲ賣ツタ』場合ニ於テハ、特別ノ勘定ヲ開キ、販賣ノ日ニ於テ、其賣買利益ハ、仕譯帳記入ニ依テ損益勘定ニ移記スルノデアル。即チ、

57 $\frac{9}{13}$ Zucchari ditti // A Pro & Danno

per utile seguito di quelli 2 lbs: 8s: 3d: 20p.

此事ハ、今日ノ考ヘカラスレバ、サマデ重大ナル考案デハナイガ、仕譯帳利用カラ見テ、注目スベキコトデアル。

試算表ハ記シテキナイ。彼ノ意見トシテ、元帳ハ每一、二、三又ハ四年ニ締切ルベキヲ説クノミデアル。日記帳ハ本來ノ主要ナルモノ以外ニ特殊小帳簿ヲ記サシメタルコト(第六章)ハ、又一ツノ考案デハアル。棚卸ハ甚ダ評價ノ困難ヲ伴ヒ、從テハ損益ノ決定ニ就テノ重大ナル現今ノ會計學上ノ研究問題デアルガ、此邊ニ就テハ原始著者ノ頭腦ハ甚ダシク無頓著デアツタ。**パチオリ**ハ最初ノ棚卸目録作成ノ評價ニ際シテ利益ヲ多クシ得ルガ爲ニ『價格ハ低カラシヨリハ寧ロ高クスベシ』ト説クノデアルガ(註二)、**マンゾ**ニハ、故意ニカ無意ニカ、決算ノ時ニ於テ、賣殘リ商品無シト假定シテ

其困難ヲ逃レテキル(註二三)。パチオリニ於テ見ル如ク、家事費トノ混交モ未ダ注意セラレズ、賭博ノ損失スラ平氣デ損益勘定ニ入ル時デアルカラ、或ハコノ程度デ時ノ用ニハ足ツテキタモノカモ知レナイ。或ハ、賣殘品ノ存在スル間ハ決算ヲシナイ意味トモ皮肉ニハ考ヘラレルガ、如此眞實性ニ關シテ、コレ等ノ著者ニ多クヲ求ムル必要ハナイノデアロウ。

要之、マンゾニハパチオリニ續イテ、パチオリノ名ヲ現シテハ居ナイガ其有力ナル祖述者デアッタ。斯クテ、原始伊太利簿記ハ新シキ力ヲ得テ次ノ時代ヘノ健實ナル歩ミヲ續クルヲ得タコトハ、マンゾニノ名ニ依テ祝福セラルノデアル。多クノ著者ガ彼ニ續イテ輩出シ、普ク商業社會ヘ簿記法ヲ傳ヘタコトハ誠ニ彼ノ工夫ガ力ノアツタコトハ云フヲ俟ツマイ。

(註二一) Brown, Ibid. P. 122

(註二二) 會計學論叢第四集一五五頁

(註二三) Brown, Ibid. P. 12